

「売ってないんじゃないけど」

広島県 金岡 亜矢子様

「大変。大変。こっちのスーパーには、花ソーセージが売ってないんじゃないけど。」

大学進学のために静岡県三島市で一人暮らしを始めた娘の言葉だ。

毎日は少し大げさだけど、中学、高校の 3 年間、頻繁にお弁当に登場していた花ソーセージが食べたくなって、アパートから 5 分くらいのスーパーへ買い物に出かけたらいい。はじめての一人暮らしは、寂しいらしくホームシックになってしまい、花ソーセージに癒してもらおうつもりだったようだ。

「うそー。広島だけなん？エー信じられん。」と娘と私で会話を交わした。

結婚してすぐから、夫のお弁当を作るようになった私に「花ソーセージを入れてね。」

と、夫が言ったその日から花ソーセージは、我が家のお弁当の定番となっていた。

ピンク色が華やかで可愛いし、何よりスペースが埋まるところが私好みで良いのだ。もちろん味も申し分なく花まるだ。

結婚前の私は、広島で育ってきたにもかかわらず、花ソーセージを食べたことが無かった。今思えば、母が大阪出身だった為花ソーセージの存在を知らなかったのだと思う。

我が家では、フライパンに油を引き軽く炙り、焼き色を付けるのが定番だった。

「広島なら牡蠣やもみじまんじゅう。そして花ソーセージなのに。」と娘。

「ほんまよー。広島ならどんなに小さなスーパーにも必ず置いてあるのにね。」と私。

「気軽に手に入らないとわかると、食べたくて食べたくて仕方がない。」と、娘が言っている。

「わかった。送ってあげるから。」送料かかるじゃないかなと思うながら、そう伝えた。そんな会話をしていたら、いったいどの県の人までが花ソーセージの事を知っているのか？

とても気になっている。